

科目名	産業保健学				必修	15コマ (22.5時間)
-----	-------	--	--	--	----	------------------

科目責任者	福田 吉治 教授					
-------	----------	--	--	--	--	--

開講年度	2020	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	月曜 1,2時限	授業方法	講義・演習
------	------	------	--------	-------	----------	------	-------

1. 授業の概要

労働を取り巻く環境に対する社会の要求がより厳しくなるなか、事業者の期待に応えられるだけの高い能力を持った産業医・産業看護職・産業衛生技術職等の必要性が高まっている一方で、特に実務能力に関して高度な教育・訓練を受ける機会を提供できる機関は絶対的に不足している。そこでこうした社会的要請に応えられるだけの実践的な専門知識を持った産業医・産業看護職・産業衛生技術職を育成するためのカリキュラムを提供する。ケースを踏まえた議論も行い、労働衛生関連法規並びに国の指針・通達についての専門的な知識と理解、労働衛生管理体制の確立、労働衛生マネジメントシステムの構築と運用、有害業務の自主的な管理の方法、健診の実施と事後措置、職場改善を含めた作業管理実務、より効果的な衛生教育の実施のための方法等を学ぶ。選任産業医のみならず専属産業医としてはもちろん、労働衛生コンサルタントとしても活躍できる人材、あるいは自立した産業保健活動ができる高度な産業看護職、産業衛生技術職としての人材育成を目指す。

2. 授業の到達目標

- 【一般目標(GIO)】**
産業医・産業看護職・産業衛生技術職など産業保健(労働衛生)を専門とする者が、当該領域の経験や知識を体系化し、産業現場の問題を解決できる能力を身につける。
- 【行動目標(SBO)】**
1. 労働基準法・労働安全衛生法を中心とする産業保健に関連する法体系および制度を説明できる。
 2. 産業保健の5管理:作業環境管理、作業管理、健康管理、健康教育、総括管理を理解し、実践に応用できる。
 3. 産業保健に関連するデータの解析し、職場の産業保健活動に活用できる。
 4. 産業医、産業看護職、産業衛生技術職等の職務を理解し、共同して産業保健活動ができる。
 5. 各職場における個別な問題について、問題の把握から解決策の立案、評価までを計画し、実践に結びつけることができる。
 6. 国内外の近年の産業保健の課題と動向について説明できる。

3. 成績評価の方法および基準(評価を希望する場合)

※評価を希望する場合

- (1) レポート(50%)
- (2) 発表(30%)
- (3) 議論への参加(20%)

注)レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。出席点による加点は行わないが、欠席・遅刻は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

・毎回授業開始時に資料として配布する。

5. 参考書

・中央労働災害防止協会. 労働衛生のしおり、中央労働災害防止協会、2018.

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

・中央労働災害防止協会の『労働衛生のしおり』を通読する。
 ・前回までに学んだ5管理からなる産業保健の内容を復習し、当日の講義のキーワードについての予習が望まれる。
 ・当該期間に30時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

・講義、ケーススタディ、グループワーク、討論を適宜組み合わせる。
 ・ケースは、受講生の担当の個々の職場での事例を取り上げる。
 ・レポートに対し、講義の中あるいは個別に解説等のフィードバックを行い、再提出を求める場合がある。

<授業計画>

産業保健学

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	9/14(月)	1	福田 吉治 教授	イントロダクション:産業保健学とは何か 労働安全衛生法令、5管理、産業保健専門職の役割
2	9/14(月)	2	福田 吉治 教授	健康管理・統括管理 健康診断と事後措置、健康増進、労働衛生マネジメントシステム
3	9/28(月)	1	津田 洋子 講師	作業環境管理・作業管理 作業環境管理の考え方、作業環境測定、作業環境改善、作業管理の考え方と実際、人間工学
4	9/28(月)	2	渋谷 克彦 講師	産業保健の今日的課題 メンタルヘルス・過重労働対策、働き方改革、健康経営
5	10/5(月)	1	宋 裕姫 講師(非)	産業保健の実際(1)
6	10/5(月)	2	宋 裕姫 講師(非)	産業保健の実際(2)
7	10/19(月)	1	福田 吉治 教授 桑原 恵介 講師	ケーススタディ(3):健康管理
8	10/19(月)	2	福田 吉治 教授 桑原 恵介 講師	ケーススタディ(4):健康増進
9	10/26(月)	1	津田 洋子 教授 加藤 美生 助教	ケーススタディ(5):作業環境管理
10	10/26(月)	2	津田 洋子 講師 加藤 美生 助教	ケーススタディ(6):作業環境
11	10/31(土)	1	小木 和孝 教授(客)	産業保健の世界動向
12	10/31(土)	2	吉川 徹 准教授(客)	自主対応型労働安全衛生活動 人間工学を利用したメンタルヘルスの一次予防対策の「職場ドック」方法による職場の良好事例に学ぶ取組み
13	11/2(月)	1	渋谷 克彦 講師 杉本 九実 講師(非)	ケーススタディ(7):メンタルヘルス
14	11/2(月)	2	渋谷 克彦 講師 石倉 恭子 講師(非)	ケーススタディ(8):過重労働対策
15	11/9(月)	1	福田 吉治 教授 津田 洋子 講師 渋谷 克彦 講師	総括、まとめ

科目名	産業環境保健学実習				必修	15コマ (22.5時間)
-----	-----------	--	--	--	----	------------------

科目責任者	津田 洋子 講師					
-------	----------	--	--	--	--	--

開講年度	2020	配当学期	夏期	曜日・時限	(個別設定)	授業方法	実習
------	------	------	----	-------	--------	------	----

1. 授業の概要

4日間を実習日とする。
 初日の午前、「職場巡視」とは何か、「安全衛生委員会」とは何か、「職場巡視」における事前準備、当日の視点およびツールの利用方法の講義を行う。
 初日の午後、第2日目、第3日目にいくつかの職場を対象として「職場巡視」を行う。
 最終日の第4日目は、午前中に職場巡視を行った職場ごとにグループの意見をまとめ、模擬安全衛生委員会で各職場での課題に対する対策を決定する。午後に、職場巡視を行った職場ごとで、職場巡視対象職場に対するレポートをまとめ、総合討論を行う。

2. 授業の到達目標

- 【一般目標(GIO)】
- 産業環境保健学概論の講義で学んだ成果を活かす場として実際の現場を巡視し、環境を評価・改善するための視点を獲得し、実践力を磨き、現場の問題解決のための提案ができる。
- 【行動目標(SBO)】
- 「職場巡視」の事前準備ができて、当日の視点を説明できる。
 - 「職場巡視」で現場の問題点を発見し問題解決の対策を考えられる。
 - 「安全衛生委員会」を理解し、運営することができる。
 - 「職場巡視」対象職場に対策提言ができる。

3. 成績評価の方法および基準(評価を希望する場合)

- レポート(60%)
- 発表(30%)
- 実習中の主体的学習態度(10%)
- レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は、原則として減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

・原則として講義資料を使用する。

5. 参考書

・中央労働災害防止協会. 労働衛生のしおり, 中央労働災害防止協会. 2019.

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

・中央労働災害防止協会の『労働衛生のしおり』の作業環境管理の章を事前に読んでおく。
 ・安全衛生委員会や職場巡視などの実習時に必要な組織や方法について理解しておく。
 ・当該期間に30時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

・レポートに対し、講義の中あるいは個別に解説等のフィードバックを行い、再提出を求める場合がある。
 ・最終レポートは実習先に提出することを予定していることを踏まえてまとめる。

<授業計画>

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	8/31(月)	1	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視とは何か, 安全衛生委員会とは何か, チェックリストの使い方
2	8/31(月)	2	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視とは何か, 安全衛生委員会とは何か, チェックリストの使い方
3	8/31(月)	3	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視A
4	8/31(月)	4	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視A
5	9/1(火)	1	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視B、C
6	9/1(火)	2	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視B、C
7	9/1(火)	3	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視B、C
8	9/1(火)	4	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視B、C
9	9/7(月)	1	福田 吉治 宮本 俊明 渋谷 克彦 教授 講師(非) 講師	職場巡視D、E
10	9/7(月)	2	福田 吉治 宮本 俊明 渋谷 克彦 教授 講師(非) 講師	職場巡視D、E
11	9/7(月)	3	福田 吉治 宮本 俊明 渋谷 克彦 教授 講師(非) 講師	職場巡視D、E
12	9/7(月)	4	福田 吉治 宮本 俊明 渋谷 克彦 教授 講師(非) 講師	職場巡視D、E
13	9/8(火)	1	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	A～E職場についての模擬安全衛生委員会
14	9/8(火)	2	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	A～E職場についての模擬安全衛生委員会
15	9/8(火)	3	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	全体討論

科目名	衛生管理学				スキルアップ 選択 ベーシック 必修	8コマ (12時間)
-----	-------	--	--	--	-----------------------	---------------

科目責任者	福田 吉治 教授					
-------	----------	--	--	--	--	--

開講年度	2020	配当学期	前期(後半)	曜日・時限	集中	授業方法	講義・演習
------	------	------	--------	-------	----	------	-------

1. 授業の概要

労働基準法及び露同安全衛生法とそれに関連する法令の基礎を学修する。将来、会社などの組織で衛生管理・健康管理・人事・労務などの仕事に就くことを想定した内容の授業を行う。
 なお、本科目は、本学医療技術学部看護学科学生(3年)の第一種衛生管理者の資格取得のための必修科目である「労働関連法令Ⅰ」(全15コマ)の一部である。

2. 授業の到達目標

- 【一般目標(GIO)】
 産業保健活動を行うにあたって必要な法令および3管理・5管理の基本を学習する。
- 【行動目標(SBO)】
- 労働衛生に関連する基本的な法令の基本的なことを説明できる。
 - 産業保健の3管理および5管理について説明できる。

3. 成績評価の方法および基準(評価を希望する場合)

中間試験20%、期末試験80%

4. 教科書・テキスト

中央労働災害防止協会編「衛生管理(下)《第1種用》」第10版

5. 参考書

中央労働災害防止協会編「労働制性のしおり 令和元年度版」
 中央労働災害防止協会編「安全衛生法令要覧 平成31年度版」

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

事前学修】次回の授業内容を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。
 【事後学修】毎回の授業内容を復習し、授業内で提示された課題に取り組むこと。
 【必要時間】当該期間に30時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・6月以降、看護学科の学生への授業は継続して実施する。希望者は聴講できる。
- ・習熟度の確認は4月28日(火)2限、6月23日(火)1限に行う。希望者は受験できる。

<授業計画>

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	4.14(火)	1	福田吉治 教授	労働衛生や産業保健の意義や役割
2	4.14(火)	2	渋谷克彦 講師	労働安全衛生法やそれに関連する法令の体系と概要(1)
3	4.14(火)	3	渋谷克彦 講師	労働安全衛生法やそれに関連する法令の体系と概要(2)
4	4.14(火)	4	大野知美 講師(非)	労働基準法と労働関連法令
5	4.24(金)	1	津田洋子 講師	労働衛生の三管理および作業管理と作業環境管理
6	4.24(金)	2	渋谷克彦 講師	職場巡視
7	4.24(金)	3	津田洋子 講師	リスクアセスメントと労働安全衛生マネジメントシステム
8	4.27(月)	1	福田吉治 教授	労働衛生における基本的な健康管理
9	4/27(月)	2	福田吉治 教授	職場での喫煙対策と腰痛対策

科目名	産業環境保健学概論				スキルアップ 選択 ベーシック 必修	8コマ (12時間)
-----	-----------	--	--	--	-----------------------	---------------

科目責任者	福田 吉治 教授					
-------	----------	--	--	--	--	--

開講年度	令和2年度	配当学期	前期(前半)	曜日・時限	火曜 1,2時限	授業方法	講義
------	-------	------	--------	-------	----------	------	----

1. 授業の概要

産業保健の対象は5千万労働者であり、公衆衛生の個別領域としては最も大きな集団を対象とすることになる。50人以上の事業所全てに義務づけられた産業医制度をはじめ各種の職域健診制度により、産業保健学は、それを専門としない者も含め多くの医師や公衆衛生専門職にとって学ぶ必要のある領域である。そこで必ずしも産業保健を専門としない公衆衛生の実務家のために、基本的な産業保健の制度、法、組織等の概要を学ぶ必要がある。また、環境保健学とは、様々な環境中の有害要因による健康影響を制御して健康を保つことを目的としている。環境問題とそのマネジメントを俯瞰しつつ、環境からの有害影響別に対策とともに詳しく理解する必要がある。

後期の選択科目である産業保健学および環境保健学の基礎的部分について、各担当教員が包括的に解説する。より専門的・実践的には、夏期および後期開講の選択科目の「産業保健学」、「環境保健学」および「産業環境保健学実習」等で学ぶ。

2. 授業の到達目標

- 【一般目標(GIO)】**
公衆衛生の5領域のひとつである産業環境保健学について、関連する健康障害の原因・機序・対策等、国内外の取組や制度、今日の課題などの知識を見につける。
- 【行動目標(SBO)】**
1. 環境要因が人・集団に与える健康障害についてを説明できる。
 2. 産業保健に関連した有害要因と健康障害の関係について説明できる。
 3. 産業保健の基本的な施策および5管理(作業環境管理、作業管理、健康管理、健康教育、総括管理)を説明できる。
 4. 国内外における今日の主要な環境問題とその対策について説明できる。

3. 成績評価の方法および基準(評価を希望する場合)

- (1) レポート(60%)
 - (2) 議論への参加(40%)
- 注) レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。出席点による加点は行わないが、欠席・遅刻は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

・毎回授業開始時に資料として配布する。

5. 参考書

・中央労働災害防止協会. 労働衛生のしおり、中央労働災害防止協会 (毎年出版)

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・中央労働災害防止協会の『労働衛生のしおり』の第III章・最近の労働衛生対策の展開の部分に事前に目を通しておく。
- ・前回までに学んだ5管理からなる産業保健の内容を復習し、当日の講義のキーワードについての予習が望まれる。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

・レポートに対し、講義の中あるいは個別に解説等のフィードバックを行い、再提出を求める場合がある。

<授業計画>

産業環境保健学概論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	4/21(火)	1	福田 吉治 教授	産業環境保健学総論 労働安全衛生法令、5管理、環境保健、産業保健専門職
2	4/21(火)	2	福田 吉治 教授	健康管理・統括管理 健康診断、健康保持増進、労働衛生マネジメントシステム、リスクアセスメント
3	5/12(火)	1	津田 洋子 講師	作業環境管理・作業管理 作業環境管理の考え方、作業環境測定、作業環境改善、作業管理の考え方と実際、人間工学
4	5/12(火)	2	津田 洋子 講師	環境測定 簡易測定器による測定と評価
5	5/26(火)	1	渋谷 克彦 講師	産業保健の今日的課題(1) メンタルヘルス対策、ストレスチェック
6	5/26(火)	2	渋谷 克彦 講師	産業保健の今日的課題(2) 過重労働対策、働き方改革、健康経営
7	6/9(火)	1	津田 洋子 講師	環境保健 環境要因が生態系全体へもたらす影響、公害対策、環境リスク学、健康影響評価(HIA)、ヒト/動物への健康影響・One Health
8	6/9(火)	2	福田 吉治 教授 津田 洋子 講師 渋谷 克彦 講師	まとめ

科目名	健康教育学				選択	8コマ (12時間)
-----	-------	--	--	--	----	---------------

科目責任者	福田 吉治 教授					
-------	----------	--	--	--	--	--

開講年度	2020	配当学期	後期(後半)	曜日・時限	月曜 1,2時限	授業方法	講義
------	------	------	--------	-------	----------	------	----

1. 授業の概要

健康教育・ヘルスプロモーションの基礎となる行動科学等の理論とモデルを学び、主に、個人、集団、社会の3つのレベルに分けて、健康教育・ヘルスプロモーションの方法を習得する。演習として、得られた知識と技術を用いて、具体的な健康教育・ヘルスプロモーションの企画(評価計画含む)ならびに模擬的な実践を行う。これらを通じて、地域、職域、学校等において効果的な健康教育・ヘルスプロモーションを実践できる専門家の育成を目指す。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】
 地域、職域、学校等のセッティングで、個人、集団、社会の異なるレベルにおいて、行動変容、健康教育、ヘルスプロモーションに関する理論を応用し、健康教育・ヘルスプロモーションを実践できる知識と能力を身に着ける。

【行動目標(SBO)】
 1.健康教育・ヘルスプロモーションに関する主な理論・モデルを説明できる。
 2.個人、集団、社会の3つのレベルの分けて、健康教育・ヘルスプロモーションの方法論を説明できる。
 3.3つのレベルでの健康教育・ヘルスプロモーションを企画、実施、評価できる。

3. 成績評価の方法および基準(評価を希望する場合)

(1) 演習の課題・レポート(50%)
 (2) 講義での積極的な参加や発言(50%)
 注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

- ・日本健康教育学会編. 健康行動理論による研究と実践. 医学書院. 2019年.
- ・国立保健医療科学院. 一目でわかるヘルスプロモーション. 2008年. (「一目でわかるヘルスプロモーション」で検索。無料ダウンロード可)

5. 参考書

- ・Egger G, et al. Health Promotion Strategies and Methods, McGraw-Hill Australia, 2013年
- ・曾根 智史, 他. 健康行動と健康教育—理論、研究、実践. 医学書院, 2006年 (原書最新版)Glanz K, Rimer BK. Health Behavior: Theory, Research, and Practice, Jossey-Bass, 2015.
- ・WHO. Health education: theoretical concepts, effective strategies and core competencies: a foundation document to guide capacity development of health educators. 2012 (ダウンロード可)

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・テキスト、参考書および各授業で指定する資料に可能な範囲で目を通しておくこと。
- ・これまで実践・関係してきた健康教育・ヘルスプロモーション活動があれば、その内容をまとめておくこと。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・課題やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・実際の健康教育の実践を行う場合がある。

<授業計画>

回数	日付	時限	担当者	授業内容	
1	11/16(月)	1	福田 吉治 加藤 美生	教授 助教	健康教育・ヘルスプロモーションの理論 健康教育・ヘルスプロモーションの基本的な理論・モデルについて説明を行う。
2	11/16(月)	2	福田 吉治 加藤 美生	教授 助教	個人を対象にした健康教育・ヘルスプロモーション 生活習慣予防の面接・保健指導、カウンセリング等、個人を対象とした健康教育・ヘルスプロモーションの基本的考え方、方法論等を学ぶ。
3	11/30(月)	1	福田 吉治 加藤 美生	教授 助教	集団を対象にした健康教育・ヘルスプロモーション 地域、職域、学校等での健康教育・健康講話など、小集団を対象とした健康教育の基本的な考え方、方法論等を学ぶ。
4	11/30(月)	2	福田 吉治 加藤 美生	教授 助教	社会を対象にした健康教育・ヘルスプロモーション ソーシャルマーケティング、ヘルスコミュニケーション、コミュニティオーガニゼーションなど、社会全体を対象とした健康教育の基本的な考え方、方法論等を学ぶ。
5	12/14(月)	1	福田 吉治 加藤 美生	教授 助教	演習1:個人を対象にした健康教育・ヘルスプロモーション 生活習慣病予防の保健指導等、個人を対象にした健康教育について、プログラムの立案、ロールプレイなどを通じて学習する。
6	12/14(月)	2	福田 吉治 加藤 美生	教授 助教	演習2:集団を対象にした健康教育・ヘルスプロモーション 地域、職域、学校等の小集団を対象にした健康教育を企画し、模擬的実践を行う。
7	12/21(月)	1	福田 吉治 加藤 美生	教授 助教	演習3:社会を対象にした健康教育・ヘルスプロモーション ソーシャルマーケティングやヘルスコミュニケーションの考え方を応用し、社会全体を対象にした健康教育・ヘルスプロモーションのプログラムを企画する。
8	12/21(月)	2	福田 吉治 加藤 美生	教授 助教	まとめ

科目名	産業精神保健学演習				選択	8コマ (12時間)
-----	-----------	--	--	--	----	---------------

科目責任者	渋谷 克彦 講師					
-------	----------	--	--	--	--	--

開講年度	2020	配当学期	夏期	曜日・時限	2日間	授業方法	講義・演習
------	------	------	----	-------	-----	------	-------

1. 授業の概要

わが国の産業構造が変化した結果、精神的な緊張を伴う業務に従事するものが増えるなど就業の中身も変化し、過重労働による健康障害、特に精神障害の労災認定申請者数は大幅に増加している。本授業では、職場のメンタルヘルス対策として、ストレスチェック等の国の勤める対策ならびに産業ストレスに関する理論を理解したうえで、「職場ドック」等の1次予防、2次予防、復職支援等の3次予防の具体的な方法論を学ぶ。これらを通じて、個々の職場におけるメンタルヘルス対策を進めるための知識、技術、コンピテンシーを習得する。

2. 授業の到達目標

- 【一般目標(GIO)】
1.1次予防から3次予防まで、職場においてメンタルヘルス対策が効果的に実践できる知識と能力を習得する。
- 【行動目標(SBO)】
1.職場におけるメンタルヘルスの重要性、メンタルヘルス対策の動向、職場におけるメンタルヘルスの進め方について説明できる。
2.職業ストレスに関連した理論やモデルとその現場への応用について説明できる。
3.職場のメンタルヘルス対策に対する組織、関係者の役割と連携について説明でき、実際の現場に応用できる。
4.職場のメンタルヘルスの1次予防、2次予防、3次予防の方法を説明でき、実際の現場に応用できる。
5.ストレスチェック制度を説明し、ストレスチェック後のフォローなどの実務を運用できる。
6.具体的な職場を対象に、メンタルヘルス対策の計画・事業の立案ができる。

3. 成績評価の方法および基準(評価を希望する場合)

- (1) 演習の課題・レポート(50%)
(2) 講義やグループワークでの積極的な発言や参加 (50%)
注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

・原則として講義資料を使用する。

5. 参考書

・中央災害防止協会. 労働衛生のしおり

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・関連する事業場等のメンタルヘルス対策について事前に調べておくこと。
・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。

<授業計画>

産業精神保健学演習

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	8/26(水)	1	福田 吉治 教授	職場のメンタルヘルス対策の現状と国の取組 産業ストレスの理論と応用
2	8/26(水)	2	吉川 悦子 講師(非) 竹内由利子 講師(非)	職場ドックの解説・実施方法
3	8/26(水)	3	吉川 悦子 講師(非) 竹内由利子 講師(非)	職場ドックの適用演習1:グループワーク
4	8/26(水)	4	吉川 悦子 講師(非) 竹内由利子 講師(非)	職場ドックの適用演習2:グループワークのまとめ、発表、質疑
5	9/2(水)	1	渋谷 克彦 講師	職場のメンタルヘルス対策における精神疾患の基本 ストレスチェックと過重労働対策の実際
6	9/2(水)	2	磨田百合子 講師(非)	職場のメンタルヘルス対策における医療専門職の役割/復職支援の実際
7	9/2(水)	3	高辻(戸谷) 由布子 講師(非)	過労死, メンタルヘルス不調者等に関連した訴訟および対処方法
8	9/2(水)	4	福田 吉治 教授 渋谷 克彦 講師	科目全体のまとめ

科目名	産業看護マネジメント論				選択	8コマ (12時間)
-----	-------------	--	--	--	----	---------------

科目責任者	福田 吉治 教授						
開講年度	2020	配当学期	夏期	曜日・時限	2日間	授業方法	講義・演習

1. 授業の概要

まず、前半では、産業保健師・看護師の基本的な考え方や役割、職域を対象にしたアセスメントの方法、対策の立案とマネジメントについて主に講義形式にて授業を行う。これらをもとにして、後半では、仮想的な事例を対象にして、グループワーク形式にて、アセスメントを行い、具体的な対策づくりを行う。担当教員を交えたグループ内でのディスカッションおよび全体発表・質疑を行う。

2. 授業の到達目標

- 【一般目標 (GIO)】
1. 企業における産業保健業務を遂行するにあたって多種様々な能力が要請されることから、産業保健師・看護師として職場の産業保健課題を抽出し、対策案を考え、他職種と合意形成を図り、対策実施をリードし、対策実現ができる能力を獲得する。すなわち、職場の個人の問題を超え、職場や工場あるいは事業場全体の健全性をアセスメントし、対策を検討し、その対策案を実施するための科学的分析能力やコミュニケーション能力およびリーダーシップ・マネジメント能力を獲得する。
- 【行動目標 (SBO)】
1. 産業保健師・看護師の基本的な考え方、役割等を説明できる。
 2. 職場の産業保健の課題を把握 (アセスメント) できる。
 3. 把握した課題から優先的な課題を抽出し、その対策を立案できる。
 4. 対策を効果的に行うために他職種との合意形成をし、対策をマネジメントして実践できる。

3. 成績評価の方法および基準 (評価を希望する場合)

- (1) 演習の課題・レポート (50%)
 - (2) 参加態度 (50%)
- 注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

特に指定しない。必要に応じて配布する。

5. 参考書

河野啓子監修、新版 すぐに役立つ産業看護アセスメントツール、法研、2014
 河野啓子著、2019年度版産業看護学、日本看護協会出版会、2019.

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・各回の授業内容で分からない専門用語があれば、次回までにその意味等を復習して理解しておくこと。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。

<授業計画>

産業看護マネジメント論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	8/22(土)	1	河野 啓子 教授(客)	産業保健における看護職の役割
2	8/22(土)	2	河野 啓子 教授(客)	産業看護マネジメントとシステムづくり
3	8/22(土)	3	猪股 久美 講師(非)	職域のアセスメントの方法
4	8/22(土)	4	磨田百合子 講師(非)	ケースを用いたアセスメントの実際
5	8/29(土)	1	福田 吉治 教授(客) 河野 啓子 教授(客) 猪股 久美 講師(非) 磨田百合子 講師(非)	職場のアセスメント演習 (情報の取り方・情報の分析)
6	8/29(土)	2		職場のアセスメント演習 (課題と強みの抽出)
7	8/29(土)	3		職場のアセスメント演習 (課題に対する対策の立案)
8	8/29(土)	4		職場のアセスメント演習 (グループ発表)

科目名	産業保健統括管理学				選択	8コマ (12時間)
-----	-----------	--	--	--	----	---------------

科目責任者	福田 吉治 教授					
-------	----------	--	--	--	--	--

開講年度	2020	配当学期	夏期(8月)	曜日・時限	2日間	授業方法	講義・演習
------	------	------	--------	-------	-----	------	-------

1. 授業の概要

産業保健の5管理のひとつである「統括管理」を中心に、企業全体の産業保健活動を統括する立場に立つ統括産業医等を対象に、統括管理の概念から具体的な活動内容を学修する。

2. 授業の到達目標

- 【一般目標(GIO)】
統括管理に必要な知識を学び、統括産業医等として、企業の産業保健活動をマネジメントできる能力を高める。
- 【行動目標(SBO)】
1. 産業保健の5管理、特に、統括管理の概念を説明できる。
 2. 会社組織における産業保健部門およびスタッフの意義と役割を説明できる。
 3. 産業保健に関連した法令を説明できる。
 4. 労働衛生マネジメントシステムおよびリスクアセスメントを説明できる。
 5. 産業保健に関連するデータの分析とその活用ができる。

3. 成績評価の方法および基準(評価を希望する場合)

- (1) 試験(50%)
- (2) レポート・発表(30%)
- (3) 実習中の主体的学習態度(20%)

4. 教科書・テキスト

・適宜、提示する。

5. 参考書

・適宜、提示する。

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

・自分が産業医等として関わった課題をあらたに整理し、解決に至った場合および解決に至らなかった場合ごとに考察しておく。

7. その他履修上の注意事項

・受講生の登録状況により、日程を変更する場合がある。

<授業計画>

産業保健統括管理学

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	8/16(金)	1	福田 吉治 教授	姿勢・倫理: 産業医としての活動姿勢・行動・倫理、個人情報保護
2		福田 吉治 教授	対象理解: 産業保健サービスの対象理解・ニーズに応じた産業保健サービスの提供、職場巡視、多様性への理解と配慮	
3		高辻(戸谷) 由布子 講師(非)	法遵守: 法令遵守、法廷闘争・訴訟にかかわる支援	
4		福田 吉治 教授	健康管理・健康増進: 健康診断の企画・実施・評価、健康診断の事後措置、ヘルスプロモーション、適正配置、母性保護、救急時対応、災害対策・危機管理	
5	8/17(土)	1	渋谷 克彦 講師	組織と産業医: 産業保健組織の確立、組織の管理、産業保健サービスの品質管理・スタッフの教育、産業保健組織の予算編成・経費管理、委員会、診断や治療、主治医と産業医の関係など
6		渋谷 克彦 講師	産業保健におけるリスクアセスメントとリスクマネジメント(労働安全衛生マネジメントシステム: 文書作成・計画・記録: 産業保健活動の方針と計画と目標、手順書等の作成、記録管理・情報管理)	
7		福田 吉治 教授	産業保健のデータの活用(健康診断データからレセプトデータまで)	
8		福田 吉治 教授	科学的研究	